

# トトロ通信 NO,56

2016年12月号 津山・きびの会通信  
〒708-0863 津山市小桁 137-2  
TEL 川島宅 0868-23-3294  
090-7541-5263

## 津山・きびの会に感謝

奇遇にも、きびの会の一員に加えていただき皆様のお世話になっている数木です。

定年後県南でボランティア活動を知り、自分を磨くためにと学び活動にも参加してきましたが積極的な活動はしてきませんでした。

きびの会ではみそづくり等の作業、にぎわい市への参加活動、又誰でも参加もできるそうめん流し、餅つき等イベントにお誘いいただき本当に楽しく参加させていただきました。そして、皆様と仲良くしていただけたことは私にとって最高の喜びであり、最高の学習となっています。生き甲斐も感じています。ボランティアとしてはあまりにも無力な私ですが、寄る年波に吞まれぬようこんごはもっと頑張ってみたいとおもっています。これからも相変わらずよろしく願いいたします。

会の皆様の長年にわたる地道なご活躍に頭の下がる思いです。今後ともご健康に気を付けられたうえ各活動や啓発活動にご尽力くださいますようお願いいたします。

## トトロサロンの収穫祭を終えて

収穫と味覚の秋。第4回トトロさろん「収穫祭」は、本格的な秋の訪れに合わせるように、10月23日、小桁のトトロの家で行われた。

旬の野菜など、食材の準備から当日朝からの調理本番を、わが津山きびの会・女性陣が担った。男ども（女性の皆様に敬意を表しこう呼ぶ）は、コロッケを丸めたり、味見をする程度の手伝い？ 昼前には長年培った厨房のプロたちが腕によりをかけた和・中・洋食10品以上と前菜、フルーツ、デザート...がテーブルに揃った。

ズラッと並んだ目にも嬉しい数々の御馳走。目の当たりにしただけで、早くも垂涎の心もち。

収穫祭には会員15人とKさん家族（子や孫）と「若者」（当事者）1人が参加し、盛況だったが、残念だったのは会員とその家族の関係者以外（第三者）の参加がなかったこと。関係者以外の人に参加してもらうには、チラシなどで呼びかける手もあるが、きびの会の実態を知らない人には興味がわきにくいだろう。またトトロの家の周辺の住民でも日頃のつき合いがなければ、難しいと思う。そこで考えられる一つの手段は、会員が個人的に知人・友人に声をかけ、輪を広げていくことでは。

「サロン」は本来、「カフェ」と同じように色々な地域や職業、心情の老若男女が集い、食事やお茶（時には酒類も）を味わいながら、会話に花を咲かす場所（スペース）と解釈している。ただ「トトロさろん」としては、きびの会の目的「引きこもり支援」を踏まえた上でサロンの意義を考える必要がある。営業目的ではないにしろ、2カ月に一度にしろ、毎回、食事会的な位置付けなら早晚行き詰る。続けていくには、第三者も参加したくなるようなイベントと組み合わせるのがいいのではないか。そのあたりは今後の課題と言えよう。

今回の収穫祭の印象を付け加える。皆さんのおかげで日頃味わうことがないような珍味佳肴を食す喜びに浸れました。味もボリュームも申し分なく、会費300円の10倍、20倍の価値がある料理と雰囲気でした。「人間は人情を食べる動物である。少なくとも私は、人から響きを受け、食物と一緒に相手方の感情を味わうことを免れ得ない」（川上肇『自叙伝』「御萩と七草粥」より）  
=朝日新聞2015年12月7日掲載=  
(M.Y)



## 若者活動 12月はお食事会です

今回の若者活動は「お食事会」です。9月に予定していたお食事会が中止になりましたので、今回はぜひとも実施したいと思っております。久しぶりの「お食事会」です。若者にはもちろん補助（1,000円）があります。若者もそれ以外の方も、ぜひ参加ください。

日 時	12月17日(土) 午後6時より
場 所	ココス(津山市川崎523-1)
会 費	食事代実費 (若者には1,000円補助)
申し込み	藤本まで(090-2297-8804)